



2002/03/27

11期生卒業おめでとう!!

3月1日、久慈主将以下9名の6年生が卒業を迎えました。11期は全員が実直でひたむきな選手でした。厳しい練習にも笑って耐え、試合では最後まで諦めずにタックルに行く場面が常に見られました。特に春季大会前の走り込みでは、全員が半ベソを流しながらも、歯を食いしばって走っていたのが印象に残っています。これからは各自それぞれの道を歩みますが、ラグビークラブでの経験をどこかで活かしてください。おめでとうございます。



新人戦・全道大会、函北に惜敗



報告が遅くなって申し訳ございません。昨年10月の新人戦・全道大会の報告をいたします。

10月13日の1回戦は古豪・芦別と対戦しました。先制トライを奪われ一時は危ういムードになりましたが、ペナルティーから素早い速攻を繰り出し、リズムを取り戻し辛勝しました。翌日14日の2回戦は、同じ様なチームカラーの函館北と対戦しました。パント処理やディフェンスのプレッシャーなど、ちょっとした連携ミスから失点が続き、後半の反撃も届かず惜敗しました。大会直前の練習で怪我をしてしまい急きょポジションの変更を強いられたことなど、不利な条件も考慮すると選手達はたいへん良くやってくれたと考えています。

また、大会前の8日には、父母の方々から差し入れを頂き焼き肉で激励会を催させて頂きました。部員達は胃袋とともに気力も満杯になりました。ありがとうございます。

札幌選抜・大阪遠征、大量4人参加

昨年度に続き、今年度も12月に札幌選抜の大阪遠征が実施されました。本校からは新人戦の活躍が認められ、横山・中村・稲垣・脇田(全員5年生)の大量4名の部員が選抜されました。また、脇田君は札幌選抜のキャプテンに指名されました。

遠征は25日から3泊4日の日程で、本場大阪の強豪校と練習試合を組んだり、札幌地区から花園に出場した山の手高校の試合を観戦したりしました。

たいへん有意義な遠征だったようで、この経験が春季大会に活かされるものと期待しています。

ありがとう。廣瀬コーチ

今年度、コーチとしてラグビークラブを鍛えていただいた廣瀬先生が退任しました。ご自身の出身である筑波大学の大学院に進学が決まり、来年からはコーチ学を学ばれます。

先生はこの1年間で、北嶺の組織ディフェンスを大幅に進化させ、また、自ら練習に参加することで

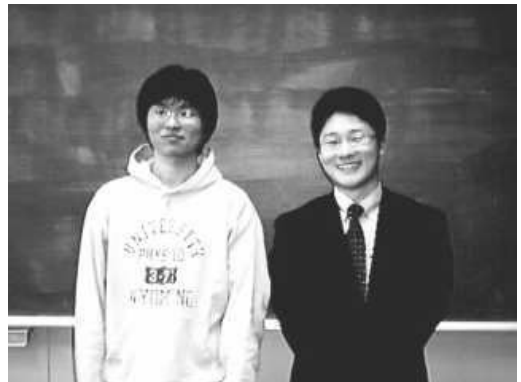


本物のプレーを体で教えてくれました。そして何よりも、北嶺OBとして北嶺ラグビーを熱く愛する気持ちを伝えてくれました。

廣瀬先生の今後のご活躍を期待しています。

合格体験講演

今年度大学に合格した6年生が、その体験を5年生に伝える「合格体験講演」が3月14日に実施されました。講演を依頼された6年生8名の中に、北大合格の久慈主将と旭川医大合格の坂井君が含まれていました。二人ともクラブ内では激しいコンタクトプレーでカリスマ的な存在だっただけに、5年生の部員達は熱心に聞き入っていました。



父母の会のお願い

「楽苦備倶楽部」は、新人戦全道大会出場の報告して以来、半年ぶりの発行になってしまいました。申し訳ございません。

さて、別紙にて「ラグビークラブ父母の会」についてのごお願いがございます。主旨をご理解して頂いたうえ、ご支援、ご協力お願い申し上げます。

ところで、今年の雪解けは早そうです。まもなく北嶺のグラウンドでは、春シーズンの飛躍に胸を熱くした部員達が走り回る光景が見られます。部員達が悔いの残らぬよう全力で指導いたしますので、重ねてご協力をお願いいたします。

雪中ラグビー

北海道のラグビー界では、冬期間に「雪中」で試合をすることが定着しています。北嶺でも例年紅白戦を取り入れています。今年は2月17日と3月10日に対外試合を組んでみました。対戦相手は社会人の「カレッジクラブ」の若手チームです。自分たちよりも一回り大きな社会人相手に果敢にコンタクトをしていました。

